

このたび、2015年9月12日に、秋季大会と総会が立教大学池袋キャンパスにおいて予定どおりに行われました。会員のみなさまのご協力に感謝いたします。

☆ 総会での議決事情について

- 1) 小林会長のご逝去に伴い、新会長に山田弘明先生が、新副会長に安孫子信先生が選出され、総会で承認されました（任期は2016年8月末まで）。
- 2) 昨年度決算および来年度予算について、下記（別紙資料1）のように、昨年度の決算と今年度の予算が総会で承認されました。
- 3) 来年度の事業予定について、下記（別紙資料2）のように、来年度の事業予定が総会で承認されました。なおすでにおこなわれた事業にかんしましては日仏哲学会HPの方をごらんください。
- 4) 第二回日仏哲学会若手研究者奨励賞として、今井悠介氏（論文「思惟における分離可能性と区別——近世スコラとデカルトの区別論——」）が選出され、表彰されました。

☆ 機関誌への投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募されるかたは本年12月31日までに 下記編集委員長の e-mail アドレスにPDFファイルで完成原稿をお送りください。（以下参考。※ 投稿規定は HP からもご覧いただけます）。

『フランス哲学・思想研究』公募論文投稿規定

1. テーマ:フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの
2. 応募資格:日仏哲学会会員
3. 応募原稿の形式:ワープロソフトによる完全原稿のPDF。和文・仏文を問わず、1行全角43字（半角86字）の設定で横書き、タイトル、著者名、注も含めて370行以内。注はワープロソフトの脚注機能は使用せず、本文の該当箇所に通し番号1)、2)、……をつけ、本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジュメ（上記設定でタイトルと著者名も含め12行以内）を本文とは別のページに付すこと。氏名、住所、電話番号、E-mailアドレス、生年月日（若手研究者奨励賞対象者確認のため）を記した応募者情報を、別紙のPDFとして添付すること。
4. 原稿作成上の注意:欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。また仏語レジュメは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。

5. 原稿締め切り:2015年 12 月末日、件名を「フランス哲学思想研究公募論文」としたメールに原稿等のファイル(本文・仏語レジュメ・応募者情報)の PDF を添付し、編集委員長宛に送付すること。
6. 原稿送付先:編集委員会委員長宛。(編集委員長):米虫正巳 〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155 関西学院大学文学部哲学倫理学専修研究室 メールアドレス: z97012@kwansei.ac.jp
7. 審査:掲載の可否は編集委員会で決定し通知する。掲載決定の場合、応募者は指示された期日までに、原稿(論文及び欧文レジュメ)の電子ファイル(Microsoft Wordバージョン2000以上で作成したもの、それ以外の場合は要相談)を添付ファイルとしてメールで編集委員長宛に送付すること。

★ 春季大会への一般発表の申し込みについて

2016年春季大会は3月19日(土)に京都大学(吉田キャンパス)で開催されます。一般研究発表を公募いたします。発表時間は 25 分(15 分の質疑応答付き)です。

発表希望者は2015年12月31日までに、日本語の場合は1200字以内、フランス語の場合は300mots以内(いずれもタイトル、発表者名、改行に伴う空白を含む)の発表要旨(Microsoft Wordバージョン2000以上で作成したもの)を事務局までメールで送付してください。なおその際には、「応募メールを送った」旨を伝える簡単なく確認メールも別途同時に事務局までお送りください。採否は 1 月末日までに決定いたします。

★ 会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000 円)を納入していただきたく、お願い申し上げます。大会欠席の方には、機関誌発送時に同封でお送りします振替用紙をご利用ください。また、以下にあります学会振替口座には常時、お振込みいただくことができます。会費納入へのご理解を改めてよろしくお願い致します。(なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただきます。)

★ 「会報」の電子媒体での送付についてのお願い

ご了承の下ですでに多数の方に「会報」をメール添付でお送りしていますが、まだお申し出いただいていない方で、「会報」をメール添付で受け取ることで構わないという方がおられれば、下記事務局までご一報下さい。

【日仏哲学会事務局】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内

e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

郵便振替口座記号番号: 00120-6-194046 / 加入者名 : 日仏哲学会

資料1 2014年度決算、2015年度予算について

2014年度(2014年9月1日～2015年8月31日)

2014年度予算

収入	
会員会費	1,190,000
雑収入	30,000
(単年度収入)	1,220,000)
前年度繰越金	1,858,459
計)	2,908,459円

支出	
大会費	70,000
事務局費	250,000
通信費・送料	100,000
機関誌刊行費	700,000
HP管理維持等	20,000
名簿等印刷代	50,000
若手研究者奨励賞	30,000
(単年度支出)	1,220,000)
次年度繰越金	1,931,431
計)	3,151,431円

2014年度決算

収入	
会員会費	1,573,000
雑収入	141,461
(単年度収入)	1,714,461)
前年度繰越金	1,931,431
計)	3,645,892円

(注1) 雑収入内訳

機関誌売上	27,160円
著作権料	24,000円
寄付金	80,000円
懇親会費余剰	10,301円

支出	
大会費	130,213
事務局費	246,740
通信費・送料	226,111
機関紙刊行費	675,864
HP管理維持費	18,144
名簿等印刷代	152,216
若手研究者奨励賞	30,000
会員連絡用はがき代	31,360
(単年度支出)	1,510,648)
次年度繰越金	2,135,244
計)	3,645,892円

203,813円の黒字

繰越金内訳	
振替貯金	2,124,037円
現金	11,207円

2015年度(2015年9月1日～2016年8月31日) 予算

収入	
会員会費	1,400,000
雑収入	50,000
(単年度収入)	1,450,000)
前年度繰越金	2,135,244
計)	3,585,244円

支出	
大会費	100,000
事務局費	300,000
通信費・送料	100,000
機関誌刊行費	950,000
HP管理維持等	20,000
若手研究者奨励賞	30,000
(単年度支出)	1,500,000)
次年度繰越金	2,085,244
計)	3,585,244円

資料2 2015年度事業計画について

①2015年9月12日 秋季研究大会（立教大学 池袋キャンパス）

一般研究発表：12名

総会

特別講演 Annie Bitbol-Hespéris

シンポジウム：＜現代フランス哲学の知られざるスピノザ＞

（司会）上野修、（発表）坂本尚志、信友建志、藤井（的場）千佳世

（9月11日）提案型ワークショップ ＜ドゥルーズ哲学と先行者たち——リュイエル、マルディネ、シモンドン＞ （司会）米虫正巳 （発表）近藤和敬、小林徹、小倉拓也

②2016年3月19日 春季研究大会（京都大学 吉田キャンパス）

一般研究発表

特別講演 Vincent Giraud

シンポジウム：＜フランス思想におけるイタリア＞

（司会）檜垣立哉、（発表）岡田温司、水嶋一憲、武田宙也

③2015年9月 機関誌20号発行

④それ以降の予定

2016年9月10日秋季研究大会（学習院大学（予定））

一般研究発表

総会

シンポジウム：＜モンテーニュの思想＞（仮題）

（司会）塩川徹也、（発表）大西克智、志々見剛、津崎良典

◆ フランス語哲学会連合（ASPLF）第36回大会の案内

フランス語哲学会連合（Association des Sociétés de Philosophie de Langue Française）の大会が2016年に開催されますのでお知らせいたします。

期間：2016年8月23日～27日

場所：Université „Al. I. Cuza” Iași（ルーマニア、ヤシ）

テーマ：Le beau

詳細はASPLFのサイト（<http://www.asplf.org>）をご覧ください。